



発行 2011年 4月 23日

社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会 会報

H23 春
会報通算 48号



★ 合言葉は、「Yes we can」
東日本大震災 香取市の田んぼ脇の道路

発行所 〒263-0021 千葉県千葉市稲毛区轟町 4-6-23 グランドメゾンと
どろき

TEL 043-290-7538

FAX

043-290-7539

<http://www.zensin.or.jp/~chiba/>

発行者 社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会

発行人（会長） 越川和夫

目次

巻頭言（越川会長）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
～P3

メーリングリストへの登録のお願い・・・・・・・・・・・・ P3

千葉県鍼灸マッサージ協同組合 理事長挨拶・・・・・・・・ P4

災害支援ボランティア募集・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
～P5

震災復興支援チャリティーマッサージ・・・・・・・・・・・・ P6

全鍼師会が「公益社団法人」に認可・・・・・・・・・・・・ P7

公益法人取得に向けての当会の方向性・・・・・・・・・・・・ P8
～P9

雑誌レビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10

～P11

編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11

3月11日午後2時46分ごろ、マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生しました。この度の地震により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

表紙の写真は震災直後の水郷地帯香取市における様子です。地割れした道路に車が落ち、地盤沈下して電柱は傾き、橋や川の護岸も崩れ落ちました。上下水道はいまだに壊れ、風呂に入れず毎日が続いています。

でも、「まだ いいほうかもしれない」 みんなそう思っているでしょう。

被災地の衛生写真、被災の動画などを見ると、まるで地獄絵図の様です。

我が家も庭の灯籠や墓石が倒れ、大型のカラーページプリンターが落下し、キーボードや眼鏡を押しつぶしました。いまだに強い余震が続いています。

全国の友人達からの連絡では、来院患者数は減少し（というかほとんど来なくなつた）、いつこの状態から抜け出せるかわからない不安な毎日を送っています。

しかし、まあ～長く生きてりゃ こんな時もあるよ(笑)

ゆっくり前進していきましょうか！

「震災お見舞い申し上げます」

会長 越川 和夫

このたびの大震災に際し被災された会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災は1150年ぶりの歴史的災害ということもあり、被害が軽微だった会員の皆様におかれましても様々なドラマがあったことと思います。

千葉は東北各県に比べれば被害は軽いとはいえ、被災県の1つです。当会会員においても旭の津波災害、香取市や浦安の液状化被害等で被災された会員も多く、当会としても可能な限りの支援対策を実施しております。

現時点での当会会員の被害状況は以下の通りです。なお、軽微なものは除きます。

死者・行方不明	0 件
建物全損	1 件
建物一部損壊	8 件

なお、現在でも香取市はじめ、断水等のライブライン被害が続いていますし、復旧工事の車両専用道路に指定されたため、患者様が車で来院できず、甚大な営業被害が続いている会員もおります。

このような中、新年度を迎え、朗報が2つあります。

1つは、当会が県に申請していた協同組合が認可されたことです。

この件で重要なことは千葉「県」という字句の使用が県から許可されたことです。つまり、単なる協同組合ではないということです。

これにより、公益法人を陰、協同組合を陽とした、陰陽二道の組織が出来、活動の自由度が飛躍的に向上し、業発展に1歩大きく前進しました。

2つ目は全鍼師会が公益社団法人の認可を受けたことです。これについては別掲します。

これを受け、公益法人の当会は千葉学会（仮称）を今年度活動の柱とし、「評価に基づく治療」の推進をすることで内部の充実を図り、無免許業者との差別化はもとより、より次元の高い、第3の医療たる予防医療の重要な担い手を目指したいと思っております。

合言葉は、「Yes we can」です。

これはオバマ大統領が勝利宣言の中で使った言葉です。

私達の鍼灸マッサージは即効性があります。にもかかわらず、無免許業者に象徴されるように、業の停滞を招いていることは目をそらすことのできない事実と思います。その大きな要因の1つが「評価に基づく治療」が希薄なことなのではないでしょうか?? このような事態を打開するには、無免許業者の取締等も勿論重要ですが、他力本願的な対策だけでは解決は困難と思っております。

このような認識のもと、当会では、今後マイスター制度の推進等により、会員の皆様の様々なニーズに対応できる多くの選択肢を提供していきたいと思えます。

その手始めとして、今年度は皆様の選択肢の1つとして「評価に基づく治療」を皆で創り上げていきたいと思えます。

「評価に基づく治療」を推進することで、鍼灸マッサージの即効性を最大限に生かし、少なくとも肩こり、腰痛なら県内どこの治療院に行っても「即、良くなる」ことが患者様の常識になるように前進したいと思えます。

皆様、皆で次元の高い治療家に成長しましょう。

合言葉は、「Yes we can」です。

肩こり患者さんや腰痛患者さんには、勿論、「Yes we can」です。

その上で、1つ1つ、「Yes we can」を皆で増やしていきましょう。

その道の先に「豊かな未来」が見えてくるのだと思えます。

皆様、今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

メーリングリストへの登録のお願い

会員の皆様いかがお過ごしですか？ 総務部長の米井です。

平素より、県師会の活動に対しご協力いただきまして感謝申し上げます。

地震お見舞い申し上げます。未曾有の大震災に遭い、これからどうしたものかと想っています。

さて、県師会では今回の震災などの災害時の安否確認や各種の県師会の情報伝達・ボランティア募集や早急な連絡網の手段、あるいは会員相互の親睦を図るため、メーリングリスト「todoroki-net」を開設しております。しかしながら、現在のところ、会員数の2割程度の皆様しか加入されていないのが現実です。今後この繋がりを強化し、多くの皆様の加入をお願いいたします。

つきましては、ぜひ会員の皆様のご登録をお願いいたします。県師会では、会報や各種案内を通して、さまざまな情報を提供しておりますが、このような媒体では、情報は一方通行であり、会員相互の繋がりは作りにくいものであります。それを、少しでも解消し、発展させて行くためにも多くの会員の皆様の加入が必要と考えます。ぜひ、多くの皆様のご加入をお願いいたします。

登録する場合には、下記のURLに接続していただけたなら簡単です。

携帯からメールアドレスで登録することも可能です。その気はあるが、これだけでは分からないという方はまずは事務所までメールアドレスをお知らせください。こちらで登録いたします。

何とぞ多くの皆様のご加入を宜しくお願ひいたします。

当会メーリングリストへの登録URL

<http://www.zensin.or.jp/~chiba/mail/>



千葉県鍼灸マッサージ協同組合 理事長挨拶

理事長 染谷 雄一

皆様、いつもありがとうございます。この度組合理事長になりました。
染谷です。どうぞよろしく願いいたします。

協同組合は、会員皆様の共益的な事業を行う目的で組織されました。
共益的な事業と言ってもわかりにくいとは思いますが、

1. 療養費保健の代行請求や備品等の一括購入
2. 組合員の技術・経営の向上を目的とした研修会
3. これらを通じて組合員が鍼灸マッサージ業を深く愛せる環境作りが出来ればと考えております。

理事会も手探りの状態での出発となります。会員皆様のご意見ご希望を少しでも汲み上げながら進めて行きたいです。

まずは、一人一人の意識を協同組合に持っていただければ幸いです。

今後ともよろしく願いいたします。

☆☆☆ボランティア募集☆☆☆

皆さま いつもお世話になります、副会長の石川です。

まだまだ、余震が続く中、会員の皆さまの治療院はいかがでしょう。
来客数が落ち込み売りが下がっているという報告を各方面から頂いております。

このような状況の中で我々が出来る事は限られているかもしれませんが、
鍼灸マッサージを通して地域の皆さまや、遠くから県内の避難所に来ている被災者
の方々にボランティアで鍼灸マッサージを行っていく事が、我々の使命ではないこと
思っております。

現在、各地域の毎にボランティア活動の準備をしておりますが、ボランティア要
員を全国的に募っております。

県内や首都圏の避難所での活動がメインになると思いますが、ご協力頂ける会員
は以下の全鍼師会の災害用ページからボランティアの登録をお願い致します。

http://www.zensin.or.jp/11_higashinohon_saigai/

船橋、千葉を中心に災害ボランティアが実施されております。今後も、数市で実施に向け検討中です。県師会でも、地域の皆様が実施くださいます災害ボランティアに可能な限りの支援をいたしたいと思っております。会員の皆様におかれましても、大変な時節柄ではございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
※現時点での実施状況は下記のとおりです。

★4月10日（日）

場所 JR 船橋駅北口
時間 11時～15時
持ち物 タオル
日当 無



★4月15日（金）

場所 千葉 サイクル会館 千葉駅北口
徒歩 7分
時間 10時～16時。半日だけでも可
持ち物 タオル
日当 無

★4月17日（日）未確定

場所 千葉ユースホテル 千葉市緑区あすみヶ丘 昭和の森内
時間 都合に合わせてます
持ち物 タオル
日当 無

★4月22日（金）

場所 千葉 サイクル会館 千葉駅北口徒歩 7分
時間 10時～16時。半日だけでも可
持ち物 タオル
日当 無

★4月24日（日）未確定

場所 千葉ユースホテル 千葉市緑区あすみヶ丘 昭和の森内
時間 都合に合わせてます
持ち物 タオル
日当 無

★ 船橋はタオル持参でお越しただければ当日参加で良いそうです。

★ 千葉については事前に打ち合わせがあるそうですので、千葉の杉山先生まで
電話 043-284-3489 又はメール sugiyama@koumeidou.jp でご連絡ください。
よろしくようお願い申し上げます。

全鍼師会が「公益社団法人」に認可



会長 越川 和夫

このたび、当会の全国団体である全日本鍼灸マッサージ師会が3月24日付で内閣府より公益社団法人に認可されました。

これにより4月1日から「公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会」と名称変更になりましたのでよろしくお願い申し上げます。

このことは鍼灸マッサージの公益性が更に高く評価されたことの証左であり、私達にとっても重要な前進です。

千葉県においては、今年度は業の発展のため協同組合の設立を先行させました。皆様のお陰様で、無事に最良な形で協同組合が認可・設立されましたので、今後は公益社団法人の認可に向け準備を進めてまいります。共々よろしくお願い申し上げます。

 府益担第2448号 平成23年 3月24日	別紙
社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 杉田 久雄 殿	1. 法人コード：A004116 2. 法人の名称：社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 3. 認定を受けた後の法人の名称：公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 4. 代表者の氏名：杉田 久雄 5. 主たる事務所の所在場所 東京都新宿区四谷三丁目12番地 6. 公益目的事業 (1) 良質かつ適正な鍼灸マッサージ施術等を提供するための研究、研修等事業 (2) 鍼灸マッサージに係る正しい知識の普及啓発等事業 (3) 視覚障害者に対する鍼灸マッサージ情報の伝達、職業訓練等支援事業 7. 収益事業等 (1) 視覚障害者に対する職業訓練の実施に資するための治療院の経営 (2) 相互扶助等事業 8. 旧主務官庁の名称：厚生労働省
内閣総理大臣 菅 直人  認定書	
平成22年12月24日付け申請に対し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第44条の規定に基づき、別紙のとおり公益社団法人として認定する。	

公益法人取得に向けての当会の方向性

副会長 石川英樹

未曾有の震災から約1ヶ月経ちましたが、会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。東北の各県と違い千葉県はあまり報道されていませんが、未だにライフラインが復旧されていない地域もあるようです。我々も被災県と言う事で全鍼師会の各地の会員から励ましのお言葉を頂いております。また、この度の震災に合われた全ての方に、心よりお見舞い申し上げます。

さて当会の今後の方向性についてご報告させていただきます。

まず立ち上げに際しては様々な問題がありましたが、会員の皆様、特に地域代表者の皆さまのご協力のおかげで、4月1日より千葉県鍼灸マッサージ協同組合が設立されました。

肝腎の公益法人取得は来期の設立に向けて進んでおりますが、こちらはより慎重に進めておりますので具体的な進展がありましたら、会報や総会でご報告させていただきます。

当会は今までは事業者の共同体でありながらも、公益的な社団法人ということで公益事業と共益事業をある部分では曖昧なままに活動をしてきましたが、今後はより公益的な事業に特化して活動していこうと考えております。

また、公益法人法でいうところの公益事業とは、同法別表の23事業に該当し、なおかつ、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものとしており、この中で我々千葉県鍼灸マッサージ師会が行なえそうな事業は以下の5点ではありますが、23項の政令は内容についての噂は流れてきておりますが、実際には未制定の為に現在我々が行なえる公益事業としては1, 4, 6, 9項の4事業になります。

但し、以下の事業は公益法人法のいうところの公益事業であり我々が考える公益事業とは必ずしも一致するものではありません。しかし以下の事業が支出ベースで50%を超える事が公益法人取得の大前提である為に、以下の4事業を中心に我々が考える真に鍼灸マッサージ師が行なえる公益事業を加えて活動していこうと思っております。

同法別表の23事業中の5事業

- 一 学術及び科学技術の振興を目的とする事業
- 四 高齢者の福祉の増進を目的とする事業
- 六 公衆衛生の向上を目的とする事業
- 九 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

二十三 前各号に掲げるもののほか、公益に関する事業として政令で定めるもの
公益法人移行を見据えて活動しているので、とても堅苦しい文章になってしま
いましたが、上記の4項目を現在我々が行なっている事業と今後の活動予定に当ては
めてみると、

1. 学術及び科学技術の振興を目的とする事業
現在の学術研修会であり、今後活用していく予定のマイスター制度や
千葉学会など
4. 高齢者の福祉の増進を目的とする事業
現在の介護推進事業であり、将来的には全鍼師会の健康づくり指導員を
活用できるような事業など
6. 公衆衛生の向上を目的とする事業
現在各地域で行なっている奉仕マッサージや被災者へのボランティア
鍼灸マッサージであり、今後は世界保健機関（WHO）が定義しているように
「疾病を予防し、生命を延長し、身体的、精神的機能の増進」に関する事業
など
9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな
人間性を涵養することを目的とする事業

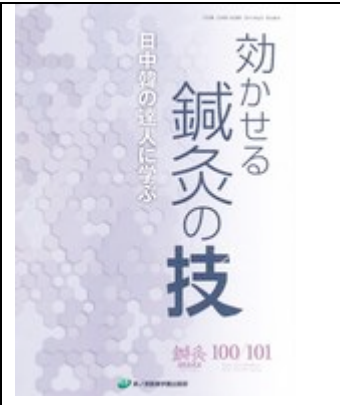
昨年行なった国体参加や学術事業内のスポーツ関連講習などであり、将来的には
一部の会員を除いて我々が不得意であったスポーツ分野での活動など
※真に鍼灸マッサージ師が行なえる公益事業については、今後会員の皆さまにもご
協力を頂き一緒に作り上げていこうと思っております。

また、上記の4項目全てを公益取得目的として申請するかどうかは、行政担当者
との協議次第なのでまだ正式に決定はしておりません。

以上、公益法人取得に向けての当会の方向性についてご報告させて頂きました。

難しい言い回しなどがあり、とても読み難い文章になってしまいましたが、最後
までご拝読頂きましてありがとうございました。

雑誌レビュー



「効かせる鍼灸の技 日中韓の達人に学ぶ」

<https://www.morinomiya.ac.jp/book/shinkyu-osaka/100101.html>

100/101 合併号 ¥3,990 (税込) B5判 246頁

年4冊 7,340円 (17%offでご希望の号から始められます)

注文フォーム：<https://www.morinomiya.ac.jp/book/order.php>

森ノ宮医療学園専門学校出版部

〒537-0022 大阪市東成区中本 4-1-8 TEL：06-6976-6889

FAX：06-6973-3133 Mail：koudoku@morinomiya.ac.jp

口絵Ⅰ	経絡図との照合による腹状図の明確化—『濃州車井腹診候』における試行 長野 仁
口絵Ⅱ	江戸期を通じて伝承された『杉山真伝流』の手技 「表之巻十八手術」及び「静龍軒秘術拾有四通押手図」 大浦慈観
口絵解説	江戸期を通じて伝承された『杉山真伝流』の手技 「表之巻十八手術」及び「静龍軒秘術拾有四通押手図」について 大浦慈観
巻頭言	100/101 記念合併号の発刊にあたって 井上悦子
座談会	座談会「効果を出す鍼灸の技」第1部 日中韓の臨床現場 形井秀一, 曹基湖, 戸ヶ崎正男, 藤原大輔, 井上悦子
アラカルト	効かせる鍼を身につけるには 戸ヶ崎正男
アラカルト	三稜鍼の使い方 谷岡賢徳
アラカルト	刺絡には先ず診察術 宮川浩也
アラカルト	私の刺鍼テクニック 毫鍼編 谷岡賢徳
アラカルト	治療において「鍼のひびきを得る」ことは必要か 木下伸一
アラカルト	江戸期諸流派にみる刺鍼技術 大浦慈観
アラカルト	連風鍼術の真髄 奥村裕一, 油谷真空, 藤本彰宣, 堀内齊賢龍, 森 洋平
アラカルト	手作りの打鍼法 高橋英生
座談会	座談会「効果を出す鍼灸の技」第2部 技術の体系化 形井秀一, 戸ヶ崎正男, 藤原大輔, 井上悦子
アラカルト	小児鍼のコツ 谷岡賢徳
レポート	ライン・マイン治療院における治療メソッド(ベビー指圧・小児指圧・小児鍼)を支える考え方 —経絡理論と西洋発達心理学の融合— トーマス・ベルニケ, カリン・カルバントナー・ベルニケ
アラカルト	鍼灸治療の重要点と温陽法則 柴鉄 劬
アラカルト	刺鍼技術力の向上を考える—自由自在なひびき(得気)を出すことを中心に— 尾崎朋文
アラカルト	鄭氏鍼法基礎の基礎 日色雄一
アラカルト	誰でも上手になれる鍼の練習器 猪飼祥夫
アラカルト	武術と鍼灸—良い鍼を打てる基礎の体を作る— 七堂利幸
エッセイ	『灸膏盲腧穴法』に思う 黄龍 祥
インタビュー	松林康子先生 鍼灸歴60年。生まれ変わっても鍼灸師に。 南 利雄, 井上悦子
アラカルト	脊椎疾患の鍼灸治療 申 秉 澈
インタビュー	ナガトヤ灸 長門屋順二先生に灸の真髄を聞く 天野聡子, 井上悦子
アラカルト	効かせる灸術を身につける 戸ヶ崎正男
アラカルト	施灸のコツ 谷岡賢徳
アラカルト	竹筒灸—海外に広まる灸療法— 水谷潤治

アラカルト	知熱灸の補瀉一考 金古英毅
アラカルト	お灸の基礎から臨床まで 山見 宝
アラカルト	透熱灸の意義と方法～火の治療の極意～ 天野聡子
アンケート	技術の巧拙は効果に影響するか／伝えたい言葉 アンケート
お灸の実際	"家伝" の隔物灸～墨灸～ 原田滋泉
お灸の実際	"もんもんの灸" (墨灸) ～火を使わないお灸～ 井出 健
お灸の実際	ナガトヤ灸の実際 長門屋順二
お灸の実際	新しい塩灸とみそ灸の作り方と応用 猪飼祥夫
薬膳料理	豊かに長く生きるために 武田淳一
海外鍼灸事情	カリフォルニア〈その28〉加齢黄斑変性 金澤信二郎
ブレイクタイム	26 一葉文学の背景 尾川裕子
口絵解説	『濃州車井腹診候』の書誌と翻刻 長野 仁

先日一通のアンケートがお世話になっている森ノ宮医療学園から届きました。どういう意図で送られてきたのかわからないまま返信しましたが、数日前1冊の雑誌が届いて全てが理解できました。

この雑誌が今回ご紹介する「効かせる鍼灸の技」です。

私など臨床を30年以上やってきても未だに自分のやっていることに確信がもてません。鍼灸の技術に関しても「もっと有効な方法があるんじゃないか？」と思いつつ業団や学会等が主催する学術講習などを受講しています。

そんななか、この雑誌からいくつかのヒントをいただき、今後の診療に役立つ情報をたくさん得ることができました。

日中韓で鍼灸に関する取り組み方が随分違うということも知りましたし、客観的な刺鍼技法や経絡経穴の捕らえ方、具体的な練習方法、いい治療ができる身体の作り方など内容は多岐にわたります。

今後の問題点や大家と呼ばれる方々の治療方法など、単に大先生の技術を盗み見るみたいな伝記ではなく、大変興味深いことが書かれています。

昔から知っている先生達も書いていますが、案外臨床に関することは話をする機会は無く「こんな面白いことをやっているんだ」とか「そういう考え方だったんだな」とあらためて知ることができ、今度会った時このネタで酒を飲みながら楽しく話ができると思いました。

とにかく、森ノ宮の出版部はテーマを絞った臨床に役立ついい読み物を多数発刊しているので一度手にとって見てください。数ページ読み始めると興奮して一気に読破してしまうような面白いものであることを保障します。

広報部長 酒井 茂一

編集後記

今回の震災をきっかけに起きた個人消費の落ち込みに伴う患者減少ですが、どうでもいい治療から受けなくてはいけない価値のある治療に変えていく必要性を感じます。そのために何をすべきか？それは自らの治療技術の向上でしょう。これを機会に再検証してみませんか。

S